

# 薬剤師



薬剤部  
薬剤師  
令和6年4月採用

ある1日の  
スケジュール



## 供給業務

内服薬や注射薬を調剤したり、抗がん剤調製を行います。

## 病棟業務①

処方薬剤が患者さんに適切に使用されているか確認する時間です。



カンファレンスへの参加  
医師を含む多職種でのカンファレンスです。共有した情報を元に患者さんへの指導につなげることも多いです。

## 朝礼

朝礼で、最重要の情報が伝達されることもあるので、どの話も聞き逃さないです。気が引き締まる時間です。

## 病棟業務②

病棟での活動開始。入院患者さんとの面談を通じて薬の説明を行い、日々の服薬管理状況や副作用・薬効発現について聴取しています。それ以外にも、病棟の常備薬管理なども大事な役割です。



## 退勤

大好きなバイクに乗って、一日の疲れを吹き飛ばすこともあります。お食事会など交流の機会も多いです！



## 現在担当している業務について教えてください

日々の主な業務は、供給業務と病棟業務です。供給業務では、内服薬や注射薬の調剤、抗がん薬調製などに全般的に取り組んでいます。病棟業務では、皮膚科、内分泌代謝・腎臓内科を担当し、入院患者さんの持参薬鑑別や服薬指導、他職種への薬剤情報提供、病棟の薬剤管理等を行っています。

## 仕事をするうえで心がけていることを教えてください

患者さんに最適な薬物療法を提供するために、調剤ミスを防ぐことはもちろん、“薬剤が適切な方法で使用されているか”を、見逃さないよう、細心の注意を払って仕事に取り組んでいます。また、日々新しい薬剤が増え、工作中にわからないことに遭遇することも多いですが、自分で調べたり、先輩に質問するようにして、常に学び続けるよう心がけています。

## 高知大学医学部附属病院の薬剤師として働く魅力を教えてください

病棟業務と供給業務を兼務できるところが、高知大学の薬剤部を選んだ一番の理由です。供給業務では薬剤を全体的に俯瞰しながら扱う一方で、病棟業務では個々の患者さんに深く関わり、薬物治療に直接貢献することができます。その分、多角的に疑問が生まれるため、勉強の機会も自然と増えますし、勉強しようとする意欲に対して、手厚いサポート体制が整っている点も魅力です。1年目から様々な経験を積むことができ、確実に成長できる環境だと思っており、毎日が充実しています。

## 目標とする将来像を教えてください

他職種の方々や他施設・院外薬局の薬剤師さんたちと連携を取りながら、患者さんの治療に深く関わられる薬剤師を目指しています。その中で、薬剤師としての知識や技術をさらに深める必要があると日々実感しており、勉強会や学会に積極的に参加しています。今後は、専門薬剤師の資格取得にも挑戦するつもりです。「薬剤師さん、頼れる！」と思ってもらえる存在になれるよう努力を続けていきます。

## 部署からのメッセージ

当院は、日本病院薬剤師会や日本医療薬学会等の認定研修施設として、専門薬剤師や博士号の取得などキャリアアップを目指す薬剤師に向けて充実した教育・研修制度を提供しています。また、院内の福利厚生も整っており、職員一人ひとりがそれぞれのライフステージに合わせて働きやすい環境づくりに努めています。ぜひ、当院薬剤部で私たちと一緒に働きましょう！